

# 311: ここに生きる -In The Moment-

彼女たちの復興は始まったばかりだ。しかし、それは力強い始まりだった。



©「311:ここに生きる」製作委員会

ドキュメンタリー映画

## 311:ここに生きる In The Moment 特別上映会in東京

'311: In The Moment' A documentary film directed by Kyoko Gasha

□日時 2012年9月20日(木) 19:00~上映(18:30開場)

Special Showing on Sep. 20th, 2012. The film showing starts at 19:00, and the hall opens at 18:30

英語字幕付。本編上映後、我謝監督とのQ&Aセッションあり。

With English subtitle. Q&A session with Director Kyoko Gasha will be held after the film showing.

□会場 東京ウイメンズプラザ ホール(渋谷区神宮前5-53-67)

At Tokyo Women's Plaza Hall 5-53-67 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo

□入場料 1000円(事前申込み制、入場料は当日会場にてお支払い下さい)

Admission fee ¥1000. Please pay the fee at the reception desk before the showing.

限定200名(お申込み多数の場合は先着順となります)

Advance booking is inquired to join the film show.

Please send your full name & email address to [311inthemoment@gmail.com](mailto:311inthemoment@gmail.com).

□お申込み方法

Eメールにて [311inthemoment@gmail.com](mailto:311inthemoment@gmail.com) まで

①参加者の氏名・ふりがな

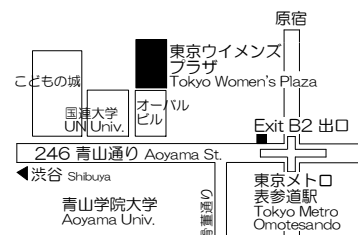
②参加者のEメールアドレス

を記載の上、お申込み下さい。後日、参加受付の確認メールを返信致します。

尚、複数名分をご一緒にお申込みの場合、参加者全員のお名前とアドレスをご記入下さい。

□お問合せ Eメール [311inthemoment@gmail.com](mailto:311inthemoment@gmail.com)

□主催 「311:ここに生きる」東京上映の会



東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線  
表参道駅より徒歩7分  
7min. walk from Omotesando Station

———今、女性たちの復興への思いを記録する———

監督 我謝京子

1995年、阪神淡路大震災後に6ヶ月目に出会った長田区に住む7歳のゆみちゃん、自分の街が火事で燃えてたくさんのお年寄りが亡くなったことを話してくれた。それから私は彼女の成長を見守り続け老人介護の仕事につく決断を聞いた時には心から祝福した。24歳の今、彼女は立派な老人介護のプロだ。

2001年、同時多発攻撃事件で被災した8歳の我が娘アンナは、今年18歳大学生となった。ビルの破壊を目の当たりにした彼女は、建築物を次世代へと保存する仕事を目指したいと話す。そして今、私は、東日本大震災の現場で、女たちの復興への思いを聞いてまわった。

彼女たちの復興は始まったばかりだ、しかし、それは力強い始まりだった。  
今回の映画は彼女たちの第一章だ。私はこれからも10年に渡って彼女たちの復興を記録する。

監督：我謝京子  
Director: Kyoko Gasha



©「311:ここに生きる」製作委員会

1963年東京生まれ。上智大学外国語学部卒業後、テレビ東京の報道記者として経済番組やドキュメンタリーを製作。ヘルー大使公邸人質事件や神戸大震災の復興取材なども体験。

2001年に母子単身赴任で渡米し、ロイター社のテレビレポーター&プロデューサーとして活躍。

2009年に監督としてドキュメンタリー映画「母の道、娘の選択」を完成。第22回東京国際女性映画祭での上映、2010年ニューヨーク国際インデペンデント映画祭観客賞、最優秀文化ドキュメンタリー賞をダブル受賞。

2011年10月、東日本大震災で被災した女性たちを記録したドキュメンタリー映画「3.11:ここに生きる」を完成。第24回東京国際女性映画祭でのワールドプレミア、その後取材を続け2012年3月に第二弾を完成。すでに日本だけでなく、台湾、韓国、インド、カナダ、フランス、アメリカ各地などで上映が行われ、「被災地に生きる女性たちのこころに迫ったドキュメンタリー作品」として、高い評価を得ている。